

水産物の週間市況について

東京都中央卸売市場 豊洲市場 水産農産品課
03(3520)8261～8262

2024 年 12 月 1 週（11月29日～12月5日） 前年同期（12月1日～12月7日）

1 品種別取扱状況

	総 取 扱 数 量	鮮 魚 類	冷 凍 魚 類	塩 干 加 工 品
一日平均取扱数量（t）	1209	552	372	285
前 週 比（％）	99	80	148	100
前 年 同 期 比（％）	100	97	117	88

2 魚種別取扱状況(各地*：海外含む。前週・前年同期比の単位は％、該当する中値を比較して算出。)

品 名	一 日 平 均 取 扱 数 量 (t)					主産地	銘柄	卸売価格(円 / kg) 及び 中 値 比 較					今週の主力 (サイズ)
	取扱数量	前週比	増減	前年同期比	増減			高 値	中 値	安 値	前週比	前年同期比	
マ グ ロ	42.8	96	↓	88	↓	各 地	生	19440	6973	2160	125	129	-
						海 外	生	5400	2981	2376	-	56	-
メ バ チ	58.5	97	↓	113	↑	各 地*	冷凍	3240	1032	702	100	100	-
ア ジ	37.8	63	↓	98	↓	長崎ほか	中	1080	713	378	117	81	180-220g/尾
						千 葉	中小	324	270	216	83	71	110-120g/尾
サ バ	24.9	87	↓	95	↓	宮城ほか	—	1080	702	270	127	151	7-10入/5kg
イ ワ シ	24.2	155	↑	216	↑	岩 手	—	1296	464	216	104	78	80-100g/尾
スルメイカ	2.6	81	↓	38	↓	北海道ほか	—	2592	2039	1215	121	126	15-30入/5kg
冷スルメイカ	2.2	96	↓	129	↑	各 地	—	2376	-	2160	-	-	-
サ ン マ	14.7	47	↓	210	↑	岩 手	生	2700	720	432	103	73	100-110g/尾
						各 地	解凍	1620	-	1080	-	-	-
カ レ イ	19.1	101	↑	128	↑	北海道	マ	648	598	486	92	91	-
						青 森	マコ	-	1080	-	97	143	-
						北海道	アカ	1080	756	540	95	96	-
						北海道	アサバ	1080	756	540	111	93	-
ハ マ チ	20.0	93	↓	83	↓	愛媛ほか	野ヱ	1242	1188	1134	100	105	5-6kg/尾
塩 サ ケ	33.1	134	↑	119	↑	北海道	トキ	-	-	-	-	-	-
						北海道	アキ	1620	1512	1404	100	147	-
タ ラ 類	34.3	87	↓	95	↓	青森ほか	生	1512	1080	702	-	-	4-5kg/尾
						宮 城	ぶわ	-	1620	-	100	-	4-7枚入/5kg
カ ツ オ	4.1	33	↓	89	↓	鹿児島ほか	—	4860	1512	864	118	125	2.5-5kg/尾
キンメダイ	4.9	88	↓	71	↓	千葉ほか	—	5400	2678	1728	104	128	0.5-1.5kg/尾
ム キ カ キ	13.2	94	↓	86	↓	三 陸	—	4320	2901	1296	98	107	-
						各 地	—	2700	2052	1404	86	-	-

3 豊洲市場概況

今週は4日(水)が休市のため5日間の営業。鮮魚類の取扱数量は前週に比べ20%の減少。
一般鮮魚類を中心に取引を見ると、29日(金)、週末の取引、買い気はやや上向いた。ブリは2割反発、スルメは1-2割上伸、カツオは2割下落、サンマは軟調、イワシは小甘い、サバはまちまち、アジは保合った。相場全体ではまちまち。30日(土)、休市前の取引、月末の土曜日で買い気はやや後退。ブリは前日に買われた反動で、需要期ながら減少も伸び悩んだ。アジも買い一服で半減したが値下がり、スルメイカは引き続き高値圏だが、増加してやや下げた、サバとカツオは主力産地が変わったことで値上がり、シーズン終盤のサンマは買い一巡で引き続き軟調な値動きだった。相場全体では軟調。2日(月)、週明けの取引、月替わりだが、買い気はいまひとつ。ブリは2-3割続伸、スルメは1-2割反発、アジは堅調、カツオは品落ちなどから大幅に反落、サンマは小安い、サバは小甘い、イワシは小動き。相場全体ではまちまち。3日(火)、休市前の取引、買い気は上向いた。カツオは大幅に反発、サバは1-2割上伸、スルメは堅調、ブリは3-5割反落、イワシは軟調な相場形成となった。相場全体ではまちまち。5日(木)、休市明けの取引、入荷増で買い気は弱め。ブリは1割反発、イワシとカツオはともに堅調、アジは1-2割続落、サバは軟調な相場形成、スルメはまちまちとなった。相場全体では小動き。
主要鮮魚別に見ると、アジは中型が長崎と富山、中小型が千葉主体に入荷。数量は前週に比べ37%減少、価格は中型が1.5割強高、中小型が1.5割強安。サバは宮城と岩手主体に入荷。数量は前週に比べ13%減少、価格は2.5割強高。イワシは岩手主体に入荷。数量は前週に比べ55%増加、価格は0.5割弱高。スルメイカは北海道と青森主体に入荷。数量は前週に比べ19%減少、価格は2割強高。カツオは鹿児島と宮城主体に入荷。数量は前週に比べ67%減少、価格は2割弱高。サンマは岩手主体に入荷。数量は前週に比べ53%減少、価格はわずかに上昇。三陸産のムキカキの数量は6%減少、価格はわずかに下落。